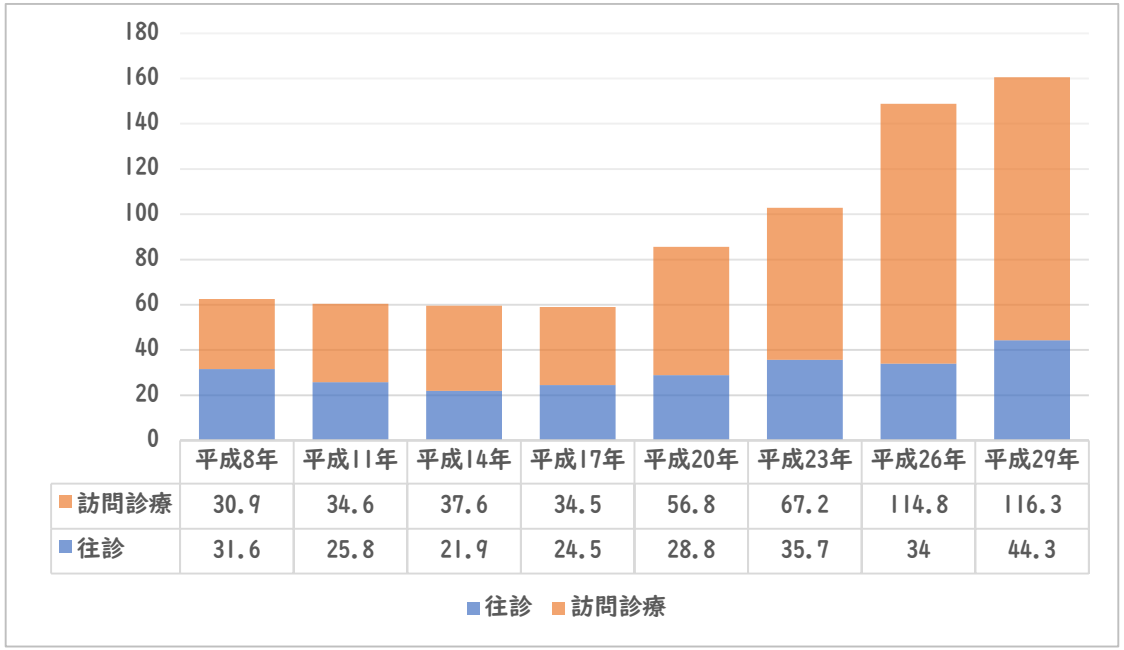
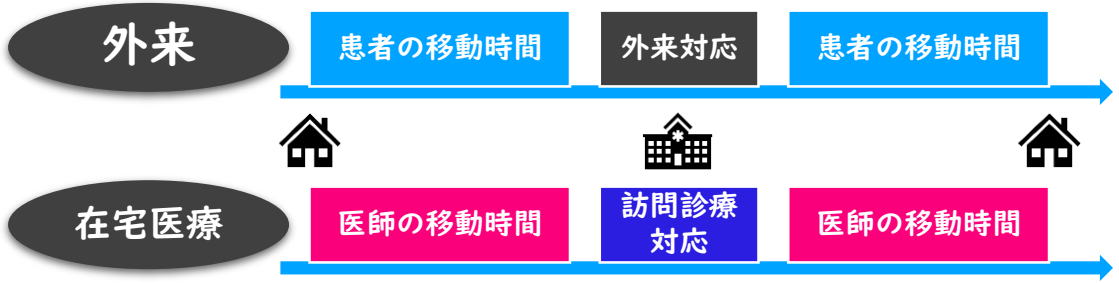
解決したい課題は何か？（一般的な課題）

②増え続ける在宅診療対応

在宅医療を受けた推計外来患者数



外来と在宅医療の医師対応時間のイメージ



増え続ける在宅医療患者
（＝医師の移動時間増）

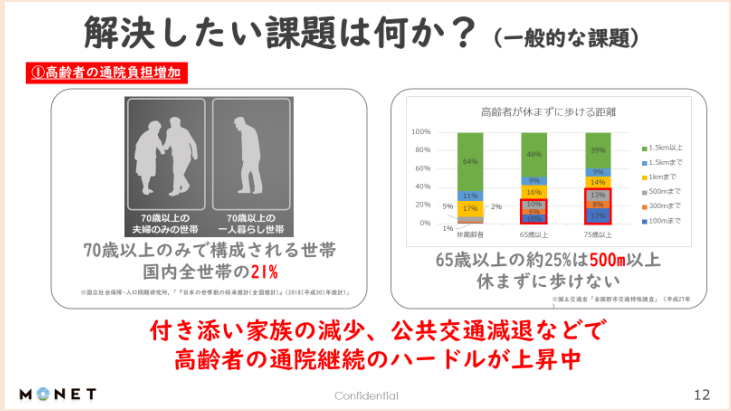
急性期患者の対応時間確保の課題、疲弊する地域医療

地域医療_課題サマリ

1. 高齢者の通院負担

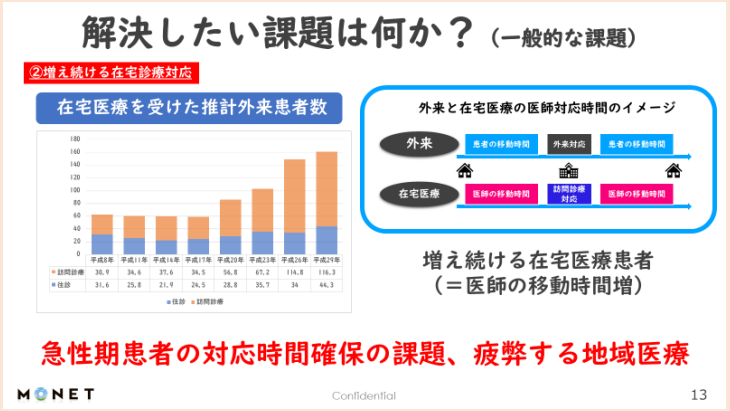
✓公共交通の減退
✓免許返納率の低迷

2. 患者家族の送迎負担



✓高齢者世帯の増加
✓老老介護の増加

3. 医療機関の時間確保



✓地方医療の医師不足
✓在宅診療の増加

モビリティ×医療を組み合わせ患者・医療機関双方の負担を軽減

医療MaaS

モビリティ
×
オンライン診療

医療MaaSとは

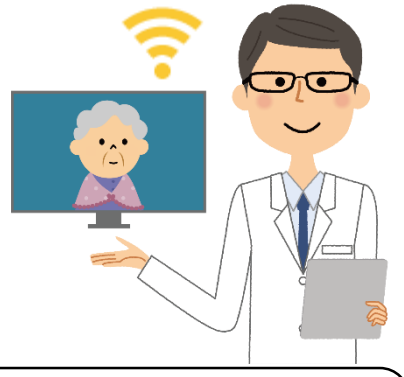
患者のもとへ医療モビリティが出向き
医師は病院にいながら遠隔診療を実施

訪問診療など
医師の移動負担を軽減

インターネット
（テレビ会議システム）

患者や付き添い家族の
通院負担を軽減

医師（病院）



医師は診療所から画面越しで診察

車両・看護師・ドライバー

患者（車内）

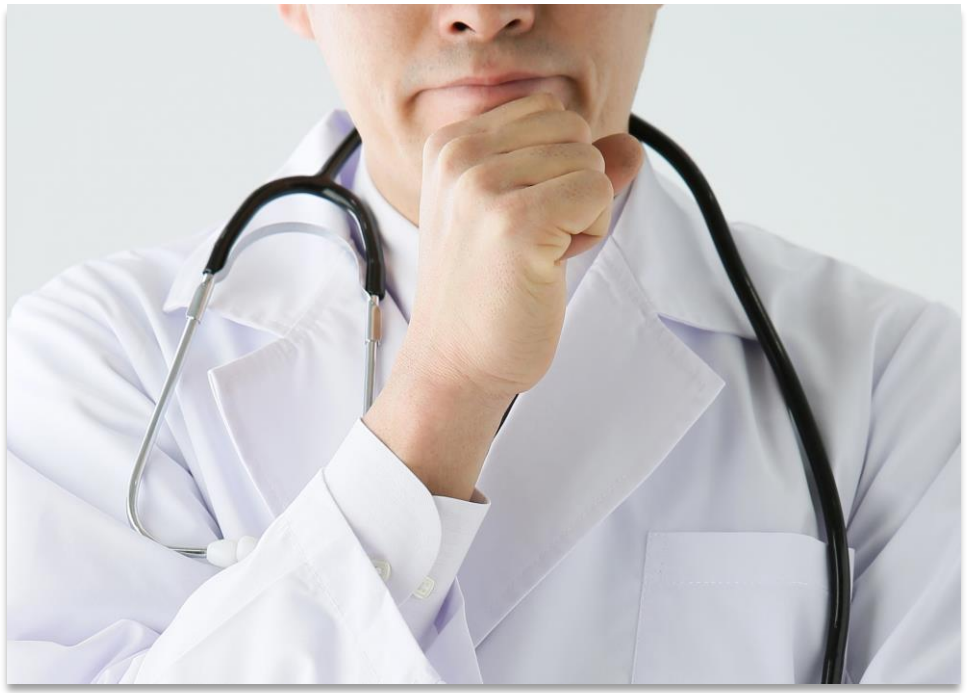
車内で、医師指示のもと画面越しでの診察

D to P with N (Doctor to Patient with Nurse)

医療MaaS位置付け

MONET

『医療』と『モビリティ』の掛け合わせで
地域医療へ新たな選択肢を与え、社会課題を解決するサービス



医師・患者の状況に応じ、
外来/在宅医療に加わる次の一手を加え
選択肢の増加、リソースのRe：バランスを図る

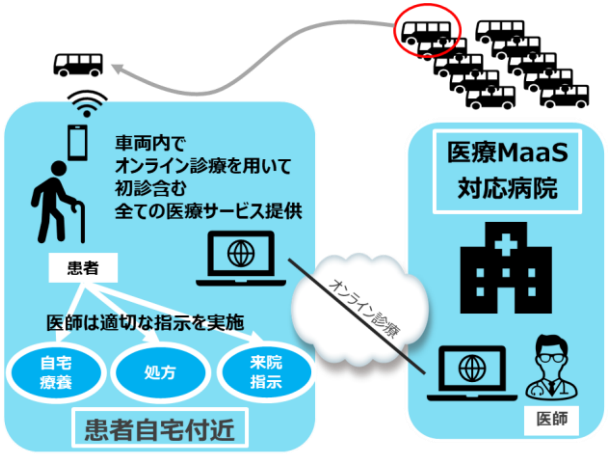
【実現する手段】

- オンライン診療
- 巡回診療
- 巡回検診

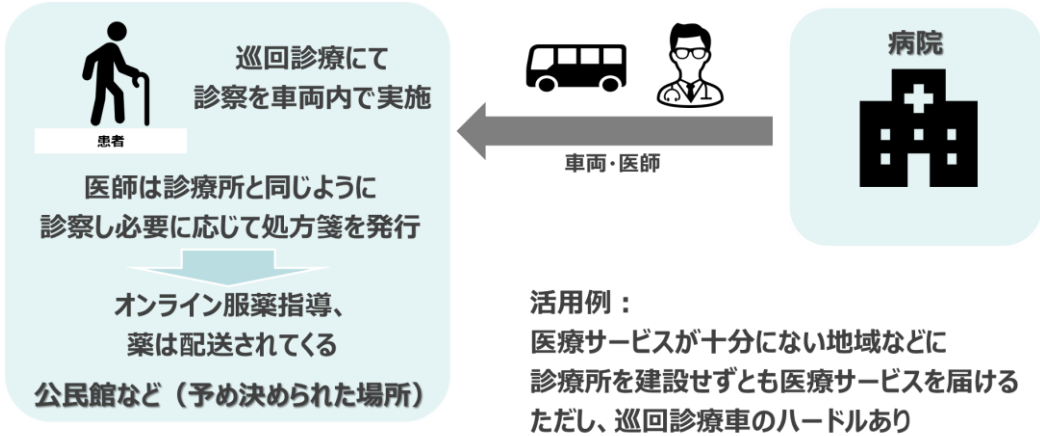
オンライン診療をやることが目的ではない。

医療MaaSモデル

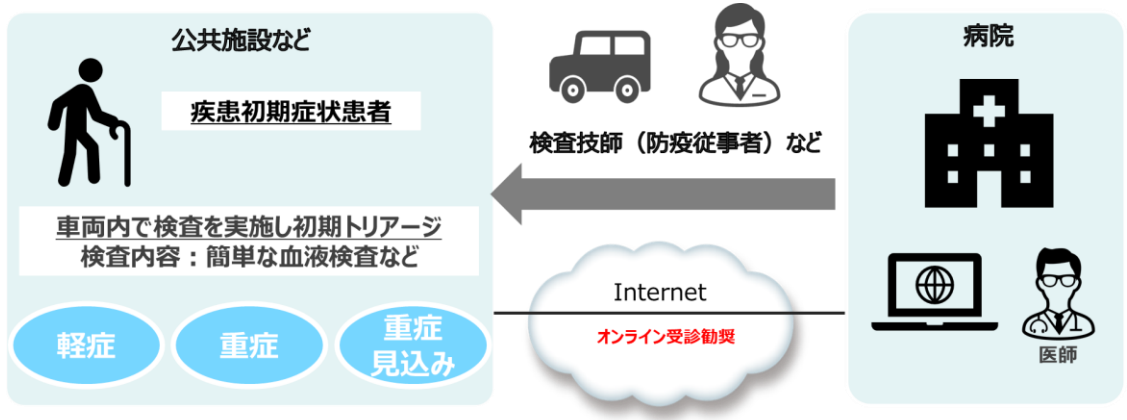
1. 医療モビリティを呼ぶモデル

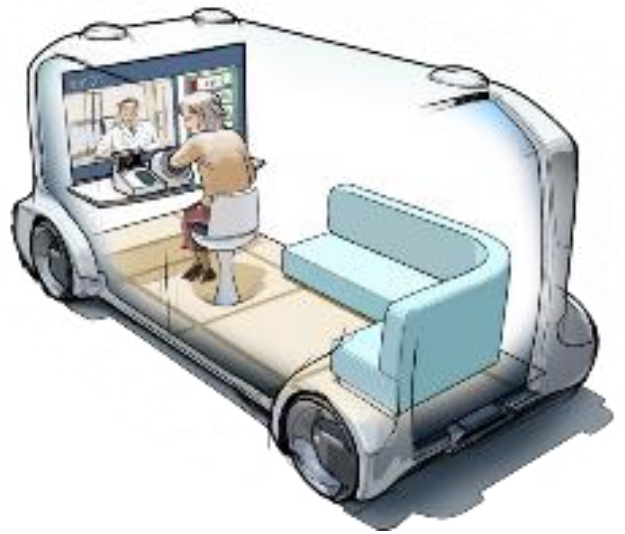


2. 巡回診療モデル



3. 検査モビリティモデル





医療専用車両

医療専用で使いやすいアイテムを装備

マルチタスク車両

サービスに応じて「車室空間と設備をカスタマイズ」

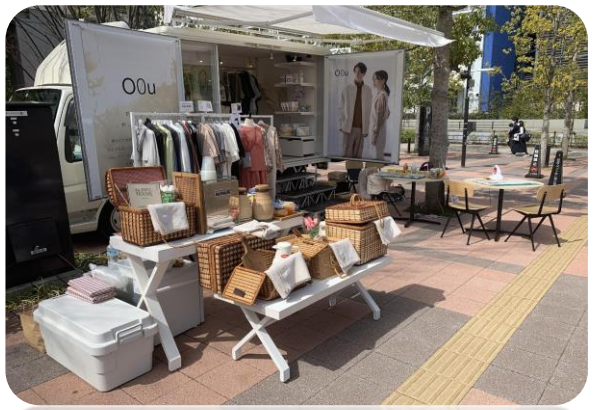
ベース車両
ハイエースグランド
キャビン

オンデマンド

移動型窓口

医療サービス

移動型アパレルショップ



行政サービス

体験型マンションサロン

オンライン診療の流れ

MONET

患者とは事前にオンライン診療日時を相談
予約患者のみ診療を実施

⓪オンライン診療日時を相談
（対面診療時）

①診療車が医療スタッフをお迎え

②乗車して患者宅へ

③患者が車内へ乗車

④保険証等により患者確認、対面問診

⑤担当医をビデオ会議システムで呼び出す。

⑥患者情報・バイタル・問診結果を確認

⑦ビデオ会議システムで診察

⑦-1　医師の指示の元、診察サポート

⑧患者、医療スタッフへ診察結果を説明
→病院・医院の医療記録に記載する。

⑨医師から看護師へ処置などを指示

⑩次回予約・診療費支払い等の説明

オンライン診療併用のメリット

MONET

1.継続的な通院

✓通院困難による
治療中断の防止

2.診療時間の確保

✓医師の移動時間削減に
よる診察効率化

3.訪問診療回数の削減

✓患者の状況にあわせ
訪問診療の回数調整

医師移動時間削減・診療効率UPによる地域医療機関の負担減へ